

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	海岸侵食対策事業		
目的	(1) 対象	海岸周辺住民	
	(2) 意図	侵食や越波被害を軽減させ、周辺住民の安全で快適な暮らしを確保する	
事業概要	侵食や越波被害を軽減させるため、和木波子海岸に、人工リーフを設置する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	防護延長	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		178.00	200.00	200.00	600.00	
式・定義	防護延長	防護延長	実績値	126.00	174.00	190.00	200.00		
			達成率		97.80	95.00	100.00		%
指標名	式・定義	防護延長	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義	防護延長	防護延長	実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	128,948	156,992
うち一般財源(千円)	6,124	8,146

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

背後地の保全すべき人命、財産が多く存在し、施設整備の緊急度の高い和木波子海岸に事業費を集中投資している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

和木波子海岸は、平成26年度に人工リーフが完成し、平成27年度から養浜に着手する。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

海岸保全基本計画に基づき、汀線を保全・維持するための整備が必要な海岸が多くある。

②困っている状況が発生している「原因」

整備に必要な予算を確保できない。

③原因を解消するための「課題」

限られた予算の中、早期の事業効果発現を図るため、予算確保をしていく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・ 海岸予算を確保する上で、国からの交付金事業を最大限に活用して予算確保に努める。
- ・ 施設整備の緊急度の高い海岸に集中投資を行い、効率的・効果的な事業執行に努める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）